

はじめに

名古屋市環境科学調査センターは、市民の皆様の健康と安全で快適な生活環境の保全をはかるため、名古屋市環境局の調査研究機関として、環境行政を科学的・技術的側面から支える役割・使命を担っています。

昨年度、公害研究所として衛生研究所内に発足（昭和 46 年度）してから 50 周年という節目を迎えました。また今年度は、環境科学研究所（平成 4 年度に名称変更）から環境科学調査センターへと組織再編（平成 24 年度に公害総合監視センターを編入、名称も変更）してから 10 周年となります。今日に至るまで様々な変革を遂げながら、名古屋の公害問題、そして環境問題と向き合ってまいりました。

環境問題は、生物多様性、気候変動、脱炭素社会、海洋プラスチック問題等と多岐に及び、複雑化・多様化の様相を呈しています。私たちは、こうした変化を機敏に捉えつつ、これからも、データや情報の蓄積、分析・解析、助言・報告、情報発信などに努め、成果を施策反映や市民還元に供してまいりたいと思います。

ここに、当センターにおける令和 3 年度の業務内容や調査研究の成果を年報として取りまとめました。ご高覧いただき、ご意見・ご指導いただければ幸いです。より良い環境を次世代に引き継いでいけるよう、引き続き、職員一同、研鑽に励んでまいりますので、今後ともご支援・ご協力をお願い申し上げます。

令和 4 年 12 月

名古屋市環境科学調査センター

所長 坂下 昌弘